

## 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>地域でその人らしく生活する事の意味を考え、独自の理念をつくっている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>管理者と職員は、基本理念を明記した用紙を持っていて、理念を共有し常に頭に入れ、日々取り組んでいる。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議を利用したり、玄関に理念を掲示し理解していただけるよう取り組んでいる。</p>	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩などで出かけた際には、こちらから積極的に挨拶をしたり、来所された方にはお茶にお誘いし寄っていただいている。交流を目的とした行事も行っている。</p>	<p>地域、隣近所をお招きする機会を増やしたい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>公民館活動に利用者と職員一緒に参加している。掃除にも職員が参加し、地域との交流を深めるように取り組んでいる。</p>	<p>保育園や子供会との交流を図りたいと考えている。</p>

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>職員間では意識を持っているが、具体的に行えていない。</p>		<p>地域への貢献という可能性を探していきたい。</p>
<p><b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b></p>				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>ミーティングにおいて自己評価及び外部評価の意義と重要性を話し合い全職員が自己評価を行い日頃のサービスを振り返る事が出来た。</p>		<p>今回初めての評価であるが結果をふまえて改善点について職員間で話し合う等の機会を持ち今後のサービスのあり方に活かしたい。</p>
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議には、区長、民生委員、市役所、家族、利用者など出席していただき、幅広い意見をいただきたいと考えている。会議の内容は、職員に報告している。</p>		<p>多くの意見をいただけるよう、会議内容を考えたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市役所福祉課の職員に運営推進会議に出席していただいている。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者、職員がまだまだ理解不足と思われる。</p>		<p>学習する機会を設け、理解を深める。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待が行われることのないように努めているが、法律的な勉強が出来ていない。</p>		<p>学習する機会を設け、理解を深める。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		

なでしこ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の日常生活のポイントに合わせた勤務配置が取れている。行事は職員の人数調整を行い対応。職員の希望も聞き勤務表を作成している。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	現在異動が行われていない。		利用者と職員の馴染みの関係作りを大切にし、異動は最小限にしたい。
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験や段階により、適した研修に参加している。		研修報告会を設け、職員全体で内容を共有する。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	交流は必要と考えるが、行われていない。		グループホーム連絡会等があれば参加したり、同業者の方と共同で勉強会等が開ければと考えている。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の悩みや不満があれば相談にのるようにしている。話やすい環境作りに心掛けている。		

なでしこ

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>法人の理念に添ったレポートの提出を義務付け各自が仕事に対する態度を振り返り、向上心につながり易い機会を作っている。</p>		
<p><b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b></p> <p><b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b></p>				
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている</p>	<p>見学や事前面接では、本人の心情を受け止めるようにしている。不安や困っている事には理解できるように努めている。</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会を作り、受けとめる努力をしている</p>	<p>見学や事前面接では、家族の心情を受け止めるようにしている。家族の不安等にたいしては、よく聞き理解できるように努めている。</p>		
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談に対して事業所でできるかどうか職員間で話し合いを設けている。必要に応じケアマネージャーとも連絡を取るようになっている。</p>		
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>見学や日帰り体験利用をしてもらう機会を作るなどして、職員や利用者と共有の時間を過ぎていただき雰囲気にならないうちに馴染んでいくようにしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者の生活の場である事に配慮し、その人らしい生活が営め、その中で利用者同士の関係が引き出せるように、共に支え合える関係作りに心掛けている。</p>	<p>遠慮から自分を抑えている利用者には、なるべく我を出せるよう支援していく。</p>
28	<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族との情報交換を多く持ち、家族の考えや思いを理解し、サービスのあり方には、家族の希望も取り入れる。</p>	
29	<p>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>本人の思い、家族の思いを受け止め、よい関係の継続に努めている。行事に誘い一緒に過ごす時間を作っている。</p>	
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会はいつでも自由にでき、馴染みの方が来訪されたときはゆっくりと過ごしていただけるよう雰囲気配慮している。</p>	<p>関係が途切れないように、利用者と一緒にごちからなじみの場所や人に会う機会を作る。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者同士の励ましや支え合う関係が、保てるように見守っている。なるべく職員が不在にならないようにし、トラブルを防ぐように見守っている。</p>	<p>利用者同士で良い関係が保てているときは、なるべく自然にまかせ、職員が介入し過ぎない様にする。</p>

なでしこ

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>退去後の様子を家族に聞くなどして、培ってきた関係を大切にしたいと考えている。</p>		
<p><b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b></p> <p><b>1. 一人ひとりの把握</b></p>				
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの暮らしの希望が叶えられるよう、普段の会話から情報をえるように努めている。言葉にされない方も態度や表情を読み取れるよう日々の観察を大切にしている。</p>		
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時に家族に協力いただき、本人のバックグラウンドを把握し、生活歴やライフスタイルの情報を得ている。</p>		
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>一人ひとりの生活パターンを尊重し、出来る事に着眼し、日常生活で活かせるように努めている。</p>		
<p><b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b></p>				
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者がその人らしく暮らせるよう日々の生活をよく観察し、思いや意見を聞き、家族の意向も取り入れ、職員全員でミーティングを行い、介護計画を作成している。</p>		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に関係なく、必要に応じ介護計画の見直しを行い、新たな計画を作成している。</p>		
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録には、介護計画の実施状況を中心に、生活の状態を書いている。</p>		<p>記録についての学習会を開き、情報の共有がしやすいものとする。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>認知症が進んでも、家族と相談しながら、馴染みの地域で暮らせるように対応したい。</p>		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	<p>地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>利用者の希望に合う地域行事へ参加したり、定期的にボランティアの受け入れを行ったり、活気ある生活がされている。</p>		<p>地域にある小学校や保育園等と交流会を行いたい。</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>地域の美容院を利用し、顔馴染みになっている。公民館の料理教室に参加している。</p>		



	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>運営推進会議等に出席していただくように要請したいが出来ていない。</p>		<p>関係の強化を図りたい。</p>
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>通院受診はかかりつけ医に家族が同行されている。協力医院の月一回の訪問診療を受け連携を取っている。</p>		
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力病院に精神科医がおり、指示や助言が求められる体制が出来ている。</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>同じ法人の看護師が近くに居るので、気軽に相談できる。</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>家族を通じて情報交換が出来ている。病院の要請があれば、出向き話を聞いたり、面会を行っている。</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に重度化や終末期の対応について話し合いをしている。</p>		<p>重度化やターミナルについては、ご家族や本人の思いを尊重し、事業所で出来る最大の支援を具体化していきたいと考えている。</p>

なでしこ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	現在対応例はないが、今後そうした場合かかりつけ医や家族と連携をとり、チーム支援を行って行きたい。		急変時の対応も含め、事業所で「できる事、できない事」を見極め安心して過ごしていただけるようにしたい。
49 住み替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	現在対応例はないが、今までの生活に出来るだけ近い生活ができるよう情報提供を行う。		
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりのプライバシーを尊重し個別空間では、リラックスして1人の時間が楽しめるよう配慮している。		集団生活の中で、言動、目線に注意し、プライバシー保護を常日頃意識していきたい。
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の意に添った生活ができるように、買い物や食事作りで、自ら決定できる場面を多く持つようにしている。		

なでしこ

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本的な一日の流れはあるが、その人のその日の状態に配慮し希望に添った生活ができるよう支援している。</p>		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>衣類の選択は本人が行い、理美容も本人の希望のところへ行き、パーマもかける、おしゃれ心も持っている。</p>		
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>買い物も同行し献立も一緒に考え、食事作り、片付けも利用者と一緒にしている。</p>		
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>1人ひとりの好き嫌いの情報が共有できるように、嗜好記入表を作成している。お茶は好みのものを飲んでいただき、行事ではお酒も飲まれている。</p>		
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>リハビリパンツから布パンツへの変更を試みている。失禁が見られた時は、本人の尊厳を守り、他者へ気づかれない対応に気をつけている。</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>基本的な曜日は決めてあるが、本人の希望により柔軟に変更している。一人ずつゆっくり楽しめるよう、安全のための必要な見守り、観察を除いて介入し過ぎないようにしている。</p>		<p>利用者から要望があれば、温泉に出かけたり、就寝前入浴の勤務体制を工夫していきたい。</p>
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>日中は、体操、散歩、行事等行ない、活動的に過ごしてもらっている。寒い時は就寝前の足浴を行い、夏場は、涼しい所で昼寝ができる環境を作っている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>料理、裁縫、庭仕事など、その人の得意とする事で役割を持って行なっていたり、ねぎらいの言葉を掛け、喜びを感じていただくようにしている。楽しみや気晴らしとなるよう個別の外出や買い物も行なっている。</p>		<p>さらに一人ひとりの生活歴や持っている力が自主的に発揮できるように支援していきたい。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族よりお金は預かり事業所が管理しているが、少額は手元に持ってもらい、外出時や買い物では自分で支払っている。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>可能な限り、散歩に出かけ、外の空気を吸い、季節感を味わっていただいている。本人の希望があれば、外出、買い物、外食等行なっている。</p>		<p>本人の希望に添った個別外出を増やし、馴染みの場所等に出かける機会を作る。</p>

なでしこ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	お盆のお墓参りは、家族に協力いただいている。遠くの公園や花見にはお弁当と一緒に作り出かけた。		本人の希望を聞き、家族に協力いただき、個別外出を増やした。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望によりかけていただき、他者のいない所で話ができるようにしている。はがきの購入、住所確認、投函等行なっている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	どなたでも、いつでも訪問できるように開放的な雰囲気にしており、事業所全体で歓迎する雰囲気が出来ている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアの必要性は理解できている。身体拘束は行っていない。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は夜間のみで、日中は自由に出入りしていただき、外に出られるときは安全確認行なっている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>一箇所に職員が集まらないようにし、利用者の様子が解かる位置で、見守っている。居室で過ごされている方にも時々訪室し声がけ行なっている。</p>		
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>ハサミ、爪切り等は自分で保管している利用者もいる。包丁は台所の引き出しにあり、施錠していない。医薬品は事務所で保管・管理している。</p>		
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>1人ひとりの行動時注意点、危険の可能性を把握し、行動を予測しながら、日々の関わり見守りを行なっている。</p>		<p>1人ひとりについて考え得る危険を多く出し合い、情報の共有を図る。</p>
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>救急救命の講習は受講している。</p>		<p>定期的な訓練を行い、実際に役立つ行動を身につけたい。マニュアル整備を行なう。</p>
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練では、利用者も積極的に参加し意見を出し合った。</p>		<p>事業所だけでなく、地域の方との合同避難訓練を実施したいと考えている。</p>
72	<p>リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>活動的な生活の継続はリスクが考えられる。家族の面会時や必要時に説明し、靴の変更や居室の備品等危険回避に向けて協力いただいている。</p>		<p>家族への連絡を密にし理解していただけるようにする。</p>

なでしこ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>普段と少しでも違う様子が見られたら、バイタルチェックを行い、職員同士情報交換し速やかに対応できるように努めている。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬内容や目的などの情報は個人毎に整理している。服薬時は氏名、日付、時間を確認し誤薬に注意している。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>起床時のコップ1杯の水、午前のお茶時の牛乳、野菜を多く取り入れた食事を心がけている。活動を多くし自力排便を促している。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>歯磨き、義歯洗浄本人の意思で行なっている。</p>	<p>口腔ケアの重要性を再認識できるよう職場内研修を行ないたい。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立が重ならないように、バランスを考えた食事を考えている。水分摂取には十分な注意を払い、食後のお茶のお変わりを行なっている。定期的な体重測定を行ない、状態を把握している。</p>	

なでしこ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い、イソジンによるうがいを励行している。手洗後はペーパータオルを使い捨てしている。職員、利用者共にインフルエンザ予防接種を受けている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	買い物は毎日行き、新鮮な食材を使用している。フキンは使用後は毎回消毒している。		定期的に冷蔵庫の清掃、整理を行い、清潔を保つ。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先は季節の花を植え、ベンチやテーブルを置き、夏場は玄関戸を開放し、近隣の人が立ち寄り易い雰囲気工夫している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は適度な照明、季節の花を飾る等心掛けています。利用者に落ち着ける古民家であることを活かし、雰囲気を妨げない家具や飾り物を使い、落ち着ける空間を保っている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間は限りがあるが、ソファを置きコタツを作ったり工夫している。		



なでしこ

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室では長年使い慣れたものや好みの物を持ってきて思い思いに使い易さを考え配置されている。</p>		<p>趣味のものや思い出の品など気軽に増やしてもらおう働きかける。</p>
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>朝の掃除では、各部屋の窓を開け換気を行なっている。トイレは換気扇と消臭剤を使用し、こまめな掃除で臭いがこもらないようにしている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>改修時古民家の良さを残しつつ、バリアフリー、スロープ、手すり等設け安全には十分配慮されている。利用者の安全を確保する中で、自立できるよう見守っている。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>同じ形状の居室扉が多いので、それぞれのれん等を作り、その人らしさを出し、わかり易くしてある。</p>		<p>利用者の状態の変化に応じ環境も変えられるよう、情報を収集する。</p>
87	<p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>花壇や畑を作り、季節感を味わっている。庭先のベンチや椅子でお茶を飲んだり、くつろぐ事が出来ている。</p>		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所に つけること)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

なでしこ

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所に をつけること)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている
		少しずつ増えている
		あまり増えていない
		全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が
		職員の2/3くらいが
		職員の1/3くらいが
		ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が
		利用者の2/3くらいが
		利用者の1/3くらいが
		ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が
		家族等の2/3くらいが
		家族等の1/3くらいが
		ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

1日が利用者のペースでゆっくり、のんびりと流れている。  
普通の家で普通の生活ができる環境にある。  
明るい笑顔が多い。  
職員が介入しなくても利用者同士、思いや心、助け合い認め合い、一緒に考え決定できる関係が作られてきている。